

Think Globally Act Locally (Vol.14)

# ボランティアのすすめ

前回に引き続き、生徒の皆さんから、ボランティアの体験談が寄せられたので紹介します。

## 渋谷幼稚園運動会でのボランティア(10月27日)報告

弟三人がいることもあって、子供と遊ぶのが好きで参加しました。子供たちにとっていい運動になるよう心がけましたが、彼らは好き勝手に動き回るので大変でした。甘やかすだけではなく、時には厳しく接することも必要かなと思いました。(中1 女子)

## 白寿荘でのボランティア(6月29日、10月26日)報告

あまりお年寄りと話す機会がないので参加しました。一回目は施設内の掃除が中心でした。あいさつをしっかりすることを心がけました。掃除をする前から床が綺麗で驚きました。職員の方たちの苦勞が分かったような気がします。二回目は、バザーのお手伝いでした。お客さんと接することの大変さが分かりました。(中1 女子)

## 隣人のお手伝い(6月3日~17日)報告

隣の家の人が長期間家を留守にするので、猫の世話を引き受けました。とても喜ばれましたし、私も近所の方と親しくすることの大切さ、役立てたことに対しての喜びを感じました。(中2 女子)

## 学校説明会の手伝い(11月16日)報告

受験生に、少しでも「この学校は楽しいよ」ということを伝えたかったので参加しました。受験生の複雑な気持ちを気遣ってあいさつ、対応をしようと思いました。次回も参加してみたいです。(中1 女子)

昨年、上級生がやっているのを自分が見て、やってみたいと思い参加しました。ポスターをあげるときなど、受験生が喜んでくれて嬉しかったです。(中1 男子)

学校説明会の裏ではどんなことが行われているのか、知りたくなったので参加しました。受験生にいやな印象を与えないように気をつけましたが、とても充実した楽しい仕事でした。(中1 女子)

## ボランティア部より

11月より、切手、ベルマーク、テレカの回収を始めて、思ったよりもたくさんの方が協力してくれて、ボランティア部一同喜んでいきます。これからも引き続き募集しているので、どしどし持って来ちゃってください!!

今学期の活動は、白寿荘でのバザー、手紙の翻訳などでした。三学期は、写本白寿荘でのボランティアなどを予定しています。白寿荘は、通常通り部員以外からも募集します。たくさんの方の参加をお待ちしています

## フィリピンからの風

今回は活動報告に加えて、ボランティア部が翻訳のお手伝いをしている、日本フィリピンボランティア協会(Japan Philippines Volunteer Association)についてお知らせしようと思います。

フィリピンにあるダバオ(Davao)という町を知っていますか。ここには20世紀初めからマニラ麻栽培に従事するために移住した日系人が多く住んでいるところです。ところが第二次世界大戦中、日本軍に協力したことでフィリピン人の恨みを買った日系人は、満足な教育も受けられず、社会の底辺で貧困以下の生活を強いられていました。

そこで、自分たちの子供たちには夢を持たせたいと願う日系人を支援するために1990年にこの協会が発足しました。その後、会員有志の寄付で土地を買い、校舎を建てて、幼稚園・小学校・ハイスクールが完成し、今年の6月にはミンダナオ国際大学(Mindanao Kokusai Daigaku)の設立にまでこぎつけたのです。

この協会では、活動の一環として、貧しくて学校に行けない子供たちに対して教育費を出す「里親里子制度」を実施しています。フィリピンでは年間3万~5万円の経費で高校や大学に進学することができるのですが、その学資を受けながら、日本の里親とフィリピンの里子との間に強い絆が築かれていきます。

ボランティア部では、里親と里子との間で交わされる手紙、またJPVAの機関紙の記事を翻訳しています。里親から里子に向けられる愛情が、また里子が里親に抱く感謝の気持ち、行間にちりばめられた手紙の数々を翻訳することに大きなやりがいを感じています。この活動についてもっと知りたい方は同協会のホームページをどうぞ!

# 皆さんの気持ちは アフガニスタンの子供たちに届きました。

昨年、五期生・六期生を中心に、アフガニスタンの子供たちに学用品を贈ろうという運動がありました。集まった品物を輸送する料金が予想外に高額で、新たに募金活動を展開せざるを得なかったことなど、いくつかの困難がありました。特定非営利活動法人「ピース ウィンズ・ジャパン」の手によって無事に現地の子供たちの手に渡りました。「ピース ウィンズ・ジャパン」より、現地での様子を写した写真をCD-ROMに納めたものを送っていただきました。いくつか紹介します。



贈られたノートを手渡す  
職員の方

ノートを手にして  
記念写真





千羽鶴の贈呈と折り紙の  
デモンストレーション

アフガニスタンの子供たち  
笑顔

